

保護者によるまなびフェスト学校評価(学校関係者評価)

【まなびフェスト：家庭の取組に関すること】

〈みずから学ぶ子ども〉				1学期比
No.	項目	平均値	肯定評価 (%)	
1	お子さんの家庭学習が習慣化するよう、家庭での学習環境（場所、時間、声かけ、確認等）を整えている。	2.97	82	4%↑
2	家庭で読書の時間を設けている。	2.22	35	6%↑
<p>○成果 ▲課題 □意見</p> <p>【1について】</p> <p>○最近、分からないところがないか声をかけるようにしている。本人も聞いてくるようになった。</p> <p>○今月から宿題を見ており、問題の解き方などを解説している。</p> <p>○どちらもテレビが常についているのでなかなか離れられない</p> <p>▲声かけが少なくとも、主体的に、宿題を終わらせてから好きな事に取り組む流れが出来ると思い。</p> <p>▲帰宅後、一人で留守番をしていることがある。その場合は自ら家庭学習をして待つことが難しい為、高学年に向けて根気よく声掛けしていきたい。</p> <p>【2について】</p> <p>○本が好きで読めない漢字があれば質問してくる。</p> <p>○本から知識を貰っているんだなと感じることが増えた。今後も内容片寄らず分野を広げた読書ができるよう、協力していきたいと思う。日頃の会話や読んでいる本から、本人に必要な本を出来る限り把握したり理解していきたいと思う。</p> <p>▲子どもに言うだけでなく、親も読書をしないといけないな…と切に感じている。</p> <p>▲短時間でも毎日読書があればいいのですが、週に2回くらいしかできていない。</p>				

〈おもいやりのある子ども〉				
No.	項目	平均値	肯定評価 (%)	
3	家庭内でもお互いに明るいあいさつを交わすよう努めている。	3.23	89	5%↓
4	お子さんの自己肯定感を育むことを意識した前向きな言葉かけを心がけている。	2.85	72	3%↓
<p>○成果 ▲課題 □意見</p> <p>【3について】</p> <p>○朝起きたら必ず夜寝る時も必ずあいさつをするようにしている。</p> <p>○親からおはよう、おかえり、ありがとうなど声かけしていると、子供も同じように挨拶が当たり前のこととして習慣化する。</p> <p>【4について】</p> <p>○反省する時も多々ありますが、今、家庭でも肯定的な言葉掛けを心掛けている。</p> <p>○ベプトークを意識している。後ろ向きな言葉を発してしまった時は自分を振り返り、素直に謝るように心掛けている。</p> <p>○お手伝いをしてもらったときは、必ず「ありがとう」と言っている。</p> <p>▲前向きな声をかけようと気をつけてはいるが、つい悪い方ばかり目について注意してしまう。</p> <p>□前向きな言葉かけができるように努力したい。</p> <p>□日頃からベプトークを意識したいです。</p>				

〈身体をきたえる子ども〉				
No.	項目	平均値	肯定評価 (%)	
5	家庭で身体を動かす機会をつくり、励ましたり、見守ったりしている。	2.95	70	8% ↓
6	メディア利用について、家庭の約束を決め、守られるよう声をかけている。（「岩小キッズのネット・ゲーム宣言」）	2.84	70	4% ↑
	<p>○成果 ▲課題 □意見</p> <p>【5について】</p> <p>○運動が大好きで常に部屋の中を動き回っています。</p> <p>○家族でサイクリングをしている。近所のスーパーには自転車で行く。</p> <p>□できるだけ外で遊べるように声をかけていきたい</p> <p>【6について】</p> <p>▲時間や曜日を決めても守れないことが多い。自宅にいとメディア以外の楽しみを見つけられない。</p> <p>▲甘やかし過ぎたり、約束事も曖昧になったりしているのて、改めて子どもと向き合って約束事を確認したいと思っっている。</p> <p>▲努力しているところですが、ゲームが好きで集中し過ぎて、本人の中での終わらせ方が課題です。</p> <p>▲子供も集中しているため、時間が過ぎそうになる時もある。その時はこちらから声をかけるよう意識している。</p>			

【まなびフェスト：学校の取組に関すること】

〈みずから学ぶ子ども〉				
No.	項目	平均値	肯定評価 (%)	
7	学校は、お子さんの「分かった」「できた」が実感できるような授業改善に努めている。	3.11	94	1% ↓
8	学校は、お子さんの家庭学習習慣を身に付けるための取組を行っている。	3.11	93	3% ↓
9	学校は、お子さんの望ましい読書習慣を身に付けるための取組を行っている。	3.04	84	2% ↑
<p>○成果 ▲課題 □意見</p> <p>【7について】</p> <p>○娘は算数が苦手なのですが、わからなかったところを休み時間にもサポートの先生に教えてもらっている話を聞く。娘も「丁寧に教えてくれるからとってもわかりやすいんだ。」と喜んでいて、親としてもとてもありがたい事だと思っている。</p> <p>今年度の研究テーマに則り、日常の授業で具現化していく。ICTを効果的に活用する実践を行う。</p> <p>【8について】</p> <p>□やる気のある児童には先生からプリント等を出して家庭学習を充実させてほしい。</p> <p>□自分で何をやるか考えて決めることはもちろん大事だが、練習問題などを数多くやることも力になると思うので、希望者にだけでもプリントを提供してほしい。</p> <p>▲宿題の量が少なく感じている。</p> <p>学校側として、宿題を出す目的・内容を教員間で再確認する。例えば粘り強く取り組むための宿題か、目的を達成するための宿題かなど。</p> <p>【9について】</p> <p>○親子読書で皆さん読んだ本を紹介していただき読んでみたいと思いました。</p> <p>▲読書をすすめる声かけがないように感じる。</p> <p>▲学校から本を借りてくるのが少なくなった。</p> <p>児童が読書の良さを実感できることが大切。興味ある本との出会いのためにも、今行っている活動の充実を図りたい。</p>				

〈おもいやりのある子ども〉				
No.	項目	平均値	肯定評価 (%)	
10	学校は、お子さんが進んで挨拶ができるような指導を行っている。	3.37	96	→
11	学校は、お子さんの自己肯定感を育むような言葉かけや指導・支援を行っている。	3.30	95	1% ↑
12	学校は、縦割り班活動などの異学年交流に積極的に取り組んでいる。	3.50	99	2% ↑
<p>○成果 ▲課題 □意見</p> <p>【10について】</p> <p>▲参観日に廊下で会う子が挨拶しない子ばかりだった</p> <p>形式的な挨拶に留まらないように、名前を付けたり、一言付けたりする挨拶を心掛けて、存在を認めていく挨拶にしていく。挨拶が一般化されていない。反射的に挨拶できるレベルに高めたい（会釈でも良い）。</p> <p>【11について】</p> <p>日常の中でベッツトークを実践し、教職員の実践力を高めていく。友達同士認め合う、一緒に成し遂げる活動を織り込む。教師が、子どもの居場所づくりを行う（学級経営）。</p> <p>【12について】</p> <p>○異学年との交流は双方にとっていいと思います。</p> <p>これまでも縦割り活動は評価が高いため取組を継続しつつも、より充実発展させることも視野に入れる。子どもたちの言葉から「岩泉小の特徴の一つ」と言われるようにまで高めたい。</p>				



〈身体をきたえる子ども〉			
No.	項目	平均値	肯定評価 (%)
13	学校は、お子さんの運動習慣や体力の向上につながる取組を行っている。	3.30	96
14	学校は、お子さんの「早寝・早起き」「食育」など健康的な生活習慣を育む取組を行っている。	3.22	95
15	学校は、お子さんの望ましいメディア利用（情報モラルなど）について必要な指導を行っている。	3.23	92
<p>○成果 ▲課題 □意見</p> <p>【13について】</p> <p>体育の時間は運動量を確保する。運動に対する目標を持たせる。運動の楽しみを感じさせる。</p> <p>【14について】</p> <p>○生活チェックや元気アップなどの取り組みを定期的に行っていて、意識付けになっていると3。 ▲生活実態調査をしているが、結果を踏まえた指導などの効果がみえてこない。朝食を食べてこない子のことを聞いたりするがどのような指導をされているのかなど少し気になっている。</p> <p>今年度策定した60プラスプロジェクト推進計画に則って、計画的な取組を継続していく。</p> <p>【15について】</p> <p>1年を通じて計画的に情報モラル指導を行う。</p>			

〈学校の教育活動に関すること〉			
No.	項目	平均値	肯定評価 (%)
16	学校は、学習や生活の様子などを学校だよりや学級通信、連絡帳、懇談会などを通して伝えている。	3.23	92
17	学校は、登下校の交通安全などの安全指導を行っている。	3.20	89
18	学校は、学校いじめ防止基本方針に掲げられている取組を行っている。	3.16	92
19	学校は、外部の人材や環境を生かした教育活動に努めている。	3.08	88
<p>○成果 ▲課題 □意見</p> <p>【16について】</p> <p>【17について】</p> <p>【18について】</p> <p>▲クラスでのトラブルなどは、家に帰り親に教える子と何も言わない子で各家庭での認識に差があると感じる。全てを把握する必要はないと思うが、全体に影響が出ていることなどは各家庭にも教えるべきではないかと感じる。多様性を尊重しながら難しい年頃の子供達に献身的に対応していただきありがとうございます先生に感謝。 ▲いじめのアンケートを、いつでも提出できると良い</p> <p>いじめの早期発見のためのアンケート内容は随時見直しを図り、よりよいものにする。また、アンケートをとることで未然防止にもつなげたい。</p> <p>【19について】</p> <p>【その他】</p> <p>□先生方にいつも明るく声をかけて頂きありがとうございます。引き続きよろしく申し上げます。 □学校生活にストレスを感じているようだ。教室が落ち着かないと周りの子もストレスを感じるの、落ち着きのなの子に対して教室を変えるなど配慮が必要ではないか。</p>			



